



秋田県立 大曲支援学校 教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

1 学校の現状

(1) 児童生徒状況

現状の児童生徒数については、中学部、高等部段階からの入学者が増加傾向にある。また、自閉症スペクトラム等軽度発達障害を併せ有する生徒の割合が1割を超えている。

本校は県南地区唯一の寄宿舎併設校であり、生活面での自立を併せての希望者のほか横手・湯沢地区からの生徒の入学希望も継続している。

(2) せんぼく校の開校

仙北地区の遠距離通学の負担解消として、平成25年度から分教室を開設し、平成28年4月に県立角館高等学校定時制校舎に隣接した敷地にせんぼく校を開校した。

(3) 特色ある教育活動〔地域・校地を活用した学習活動〕

開校当初から、地域の多くの支援団体、事業所等に支えられ、地域との校内外での交流活動を教育活動の中心に据えている。近年は地域での貢献活動等を継続実践している。また、広大で自然豊かな校地環境を生かした学習活動を実践しており、特に環境緑化・美化活動は高い評価を得ている。

2 将来状況の予測と課題

(1) 児童生徒数の推移

せんぼく校開校や地元地域の小・中学校特別支援学級児童生徒数、横手・湯沢地区からの入学者数を考えると、ここ数年は130名前後の規模で推移すると予測される。

(2) 重点課題

①教育活動の見直しと発展

自立と社会参加に向けた小学部段階からの新たな実践的取組と実践的職業教育の充実とともに、地域交流を中心とした理解促進、職場・職域開拓のさらなる強化が必要である。

②社会や特別支援学校を取り巻く状況への対応

キャリア教育のねらいを具現化するための取組を教育課程に適切に位置付け、展開して行くことや、インクルーシブ教育システムの構築に向けた合理的配慮や基礎的環境の整備等児童生徒一人一人の学びの多様性を保障することが必要である。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

1 学校像

「瞳かがやき、笑顔あふれる学校」

特色ある学校づくり(伝統の継承と発展)

- (1) 地域に根ざした学習活動、地域の人との日常的な交流活動
- (2) 地域における感謝される体験を通じた「思いやりの心」の育成
- (3) 児童生徒の主体的を育む学校環境整備、校内奉仕活動

2 児童生徒像

児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階、特性等に応じた知識、技能、態度を身に付け、積極的に社会参加、職業自立できる児童生徒を目指す。

- (1) じょうぶな子 健康で、安全な生活ができる児童生徒
- (2) すなおな子 明るく、仲良く、礼儀正しい児童生徒
- (3) がんばる子 進んで取り組み、最後までやりぬく児童生徒

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

1 自立に向けて地域に根ざした教育活動の充実（これまでの実践を充実・発展）

(1) 自立と社会参加に向けた学習活動・生活指導

① 体力づくりと生活習慣の指導 ⇨ **健康と体力の増進、働く力の基礎育成**

- ・校地内散策、ランニング、タイムレース（定期）、ダンスやエアロビクスの実施
- ・基礎的生活習慣の指導（挨拶）

② ものづくり ⇨ **授業改善、地域交流・本校理解促進**

- ・制作活動の充実と作品展示機会の拡大〔地域作品展、各ギャラリー展示の開催〕
- ・付加価値のある作業学習製品や農産物加工品の質と量の向上〔地域販売、受注生産、寄贈〕国際花火シンポジウムに向けての作業製品作り

③ 地域での発表（大仙、美郷地区）⇨ **学習活動の充実、本校理解促進**

- ・高等部3年伝統太鼓、学部発表、小中ダンスチーム

④ 校地内環境を活用した学習活動 ⇨ **学校環境の有効活用、地域貢献**

- ・校内環境の美化と整備：造園拡充、憩いの場設置、樹木管理、果樹加工
- ・憩いの場を活用した学習活動（野外活動）

⑤ 寄宿舎の生活体験と実習 ⇨ **寄宿舎の新たな機能**

- ・入舎前提体験利用、自宅通学生生活体験利用、現場実習時生活体験利用、保護者のための生活技能研修
- ・卒業後の生活を見据えた個人またはグループによる自立生活実習

(2) 地域交流と交流及び共同学習 ⇨ **本校及び障害者理解促進、地域貢献**

① 地域の保育所（2か所）、小・中学校（2校・2校）、高等学校（3校）との交流の継続と活動内容の充実

② 居住地校交流の実施（小学校9校）

③ 地域団体、事業所等との清掃、ボランティア（除雪作業）、地域イベントへの出演・共演

④ グラウンド・ゴルフ大会の開催（地域住民等の参加）準備

(3) 実践的職業教育の実施 ⇨ **キャリア教育・進路指導の強化**

① 小学部児童の中学部体験、中学部生徒の高等部生活体験、就業体験の実施

② 高等部生徒の実践的作業学習の導入（営農実習、校外実践作業）、個別実習

③ 就職希望者の就職決定率100%の維持と特別支援学校職域開拓事業の実施

（平成28年度）

④ 卒業後の定着指導

2 センターの機能の充実

[大仙・美郷地区]

- ・地域療育事業利用者、地域の特別支援学級児童生徒との合同学習の実施
- ・関係機関と連携した相談支援の充実
- ・小中学校特別支援学級等の進路指導支援（体験学習の受入、合同学習等）
- ・小中学校、高等学校ほか地域関係機関に呼び掛ける研修会の主催
- ・個別検査の依頼等への対応
- ・居住地校交流の推進